

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	7 月	25 日	記入者	大谷 巳弥子
調査者名	大谷	垣内	久門		

文化財名	平林古墳				
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )
指定年月日	1991年(平成3)3月8日				
所在地	葛城市兵家平林1374-1				
所有者 管理者	葛城市				
員数	1基				
時代区分	6世紀後半頃				
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	石室の側に図解入りの分かりやすい説明板が設置されている。				
公開	見学自由				
保存状態	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ( )				
当面の課題	墓地公園の一面にあり、石室、墳丘ともきれいに手入れされていて、特に問題は無い。				
今後の課題	古墳への周辺道路が複雑で、目立つ案内板も無いため、見つけるのが困難。道案内の看板を設置していただければと思う。				
その他 (由緒など)	6世紀後半頃の築造と推定される全長55メートルの前方後円墳で、後円部より前方部の方が発達していて南西に向いている。後円部に大型の両袖型横穴式石室が南側に開口していて、玄室・羨道・前庭部の全長が20.1メートルにもなる。羨道部に組合式石棺の底石が残存。1996年(平成8)に発掘調査され、盗掘後の石室内から、直刀・槍・矢じりなどの武器や仿製画文帯四獣鏡、馬具、装身具、土器などが多数出土した。				
コメント	橿原から飛鳥にかけての平野を見渡せる絶好のロケーションに恵まれた丘の頂上付近にあり、葛城地域の有力豪族が埋葬されたものと思われる。墳丘の高まりも分かりやすく、墓石の名残も見られる。また一面に桜の木が植えられていて、春には桜の名所にもなっているようだ。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020 年	7 月	25 日	記入者	大谷 巳弥子
調査者名	大谷	垣内	久門		

文化財名	平林古墳
------	------

平林古墳 石室入り口	説明板
------------	-----



横穴式石室内部(羨道部に石棺の底石)	後円部墳頂
--------------------	-------



墳頂からの眺め	前方部に残る葺石
---------	----------

